

高齢者の安全運転について

南署の担当者から、高齢者の安全運転について講話いただきました。現在も交通戦争と呼ばれるほど交通事故で亡くなる方が多く、高齢者の交通事故が毎日のようにニュースの話題となっています。安全対策としてシートベルトの着用を義務付けられ、車のサポートシステムも開発されていますが、事故件数は減っていないのが現状です。中でも、高齢者による死亡事故は全体の55%を占めています。では、高齢ドライバーの事故が多いのはなぜでしょうか？その原因として、①身体機能の低下②認知機能、判断力の低下③体力の低下などが考えられます。

みんなで実践事故防止！

高齢ドライバーに多い事故パターンと必ずやってほしい3つの行動

① 出会い頭の事故

行動⇒ 見通しが悪ければ、徐行が必要、一時停止の交差点では必ず停止！

② 右折中の事故

行動⇒ 右折は急がず慎重に！対向車の直進を妨げない！

③ 左折中の事故

行動⇒ 左側の歩行者自転車・単車の有無を確認して！

プラスαで

運転に不安を感じていませんか？
そんな時には「補償運転」を!!



天候

雨風の日は視界がわるいからやめとこう

体調面

今日は血圧が高いから明日にしよう

時間帯

夕暮れは視界がわるいからやめとこう

行き先

行き慣れたスーパーや近くの病院受診だけと決めよう



それでも運転に不安を感じたら、まずは相談しよう！

大切なのは、運転できなくなる不便さよりも、将来起こすかもしれない事故を防ぐこと。

安全運転相談ダイヤル
#8080
※ジハレバレ

「こんな症状」が出た時が要注意！

- 右左折のウインカーを間違えて出したり忘れたりする
- 歩行者、障害物、他の車に注意がいかないことがある
- カーブをスムーズに曲がれないことがある
- 車庫入れの時、塀や壁をこすることが増えた

「若い頃とちよっと違うな」
「おかしいな」と感じたら・・・

自主返納の
時期です